

先生各位

検体採取容器および採取方法変更のご案内

謹啓 時下益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。また、平素はひとかたならぬお引き立てを賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、下記の項目におきまして、検体採取容器および採取方法を変更させていただきますのでご案内申し上げます。

今後とも変わらぬご愛顧のほど、よろしくお願い申し上げます。

謹白

記

《変更日》 令和 2 年 10 月上旬より在庫がなくなり次第順次

《変更内容》

総合検査案内	検査コード	検査項目名称	変更内容	変更後	変更前
未掲載	6419	新型コロナウイルス 核酸検出 (鼻咽頭ぬぐい液、喀痰)	容器	QZ 	QC 
	8125	新型コロナウイルス 核酸検出 (鼻腔ぬぐい液)		Miraclean Technology 社製 (ウイルス不活化試薬 入り)	コパン社製 スギヤマゲ ン社製 (ウイルス輸送液入り)

総合 検査案内	検査 コード	検査項目名称	変更内容	変更後	変更前
未掲載	7235	新型コロナウイルス 核酸検出 (唾液)	採取方法 (QE)	 QE 容器 (50mL 遠沈管) に唾液 1~1.5mL を採取し、ウイルス不活化試薬を添加 ※添付資料参照	 QE 容器 (50mL 遠沈管) に唾液を 2mL 以上採取

※ その他の検査内容に変更はございません。

《変更理由》 感染リスク低減のため

《解説》

不活化試薬は、新型コロナウイルスのPCR検査前にウイルスの感染力や毒性を軽減させる（不活化）と同時に、不活化後のウイルス核酸を安定的に保存するための試薬です。

本試薬は、検体を採取してから約10分で不活化が可能であり、医療従事者の感染リスク低減およびPCR検査の効率化に寄与すると考えられています。

ただし、本試薬使用の際であっても検体の取り扱いにおいては、従来どおり「国立感染症研究所」の「2019-nCoV（新型コロナウイルス）感染を疑う患者の検体採取・輸送マニュアル」に準じて行ってください。

《備考》

変更後も鼻咽頭、鼻腔におけるQC容器（コパン社製、スギヤマゲン社製）、および1~3mLのPBS、生理食塩水入り容器での受託、唾液におけるウイルス不活化試薬添加なしでの受託は可能です。

《注意》

- ・不活化試薬を皮膚、目、粘膜に触れさせないでください。また飲み込まないでください。
- ・皮膚、目、粘膜に付着した場合は、ただちに多量の水で洗い流し、医師の手当てなどを受けてください。
- ・飲み込んでしまった場合はただちに医師の診察を受けてください。

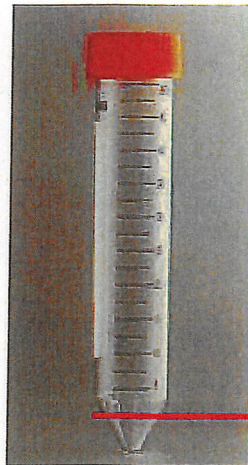
● 唾液の採取方法〔不活化試薬添加〕（新型コロナウイルス PCR 検査）

1. 採取前の準備

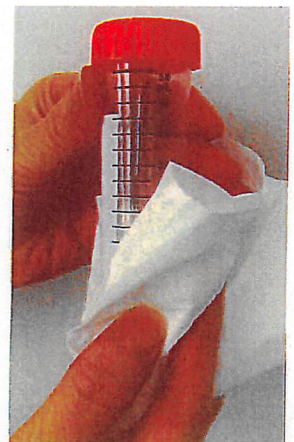
- 採取の 10 分前から飲食を避けてください。（可能であれば 30 分ほど空けてください。）
- 特にのど飴やガム、歯磨き粉、のどスプレーなどを使用した場合は 1 時間程度経ってから採取してください。

2. 唾液の採取

- 所定の滅菌容器（50mL 遠沈管）のキャップを開けてください。
- こぼれないよう、容器に唾液を **1~1.5mL** 入れてください。必要量入るまで複数回繰り返してください。（液量見本を参考にしてください。）
- キャップをしっかり閉めて、容器表面をアルコール等で消毒してください。



1~1.5 mL

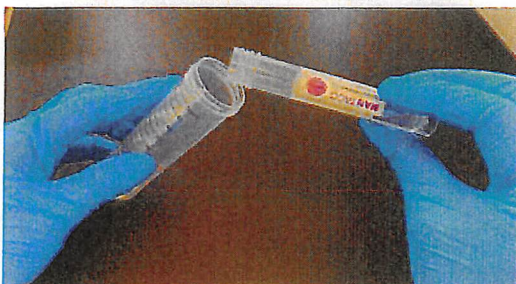


《アルコール等で消毒》

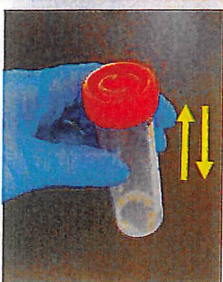
3. 採取後（以下の操作は必ず医療機関様で実施してください）

- 不活化試薬の入った容器のキャップを開け、中の試薬全量を採取した唾液に添加してください。
※不活化試薬は皮膚、目、粘膜に直接触れさせないください。また飲まないでください。
- 試薬を入れた後、キャップをしっかり閉めて、十分に転倒混和してください。
- チャックつきポリ袋に入れてください。空となった不活化試薬容器も、キャップを閉めて一緒に入れていただきますと当社にて廃棄致します。（医療機関様で廃棄される場合は感染性廃棄物として扱ってください。）

不活化試薬を採取した唾液に添加



チャックつきポリ袋へ入れる



キャップが閉まっていることを確認し、十分に転倒混和してください。

弊社へご出検の際は、指定の紙箱もしくは市販の三重梱包容器にてご提出ください。